

箕面ロータリークラブ
2020-21
**WEEKLY
BULLETIN**



2020-21 年度 国際ロータリー会長 ホルガー・クナーケ
国際ロータリー第 2660 地区 2020-21 年度ガバナー 簡 仁一

【2020-21 年度】 会長 河野優作 幹事 前田建司 広報・会報委員長 山本貴雄

事務局・例会場:〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル Tel:072-724-2781 fax:072-724-1786
e-mail:mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP:http://mino-orc.net/ 例会日:毎週木曜日 18:30~

◆今週の例会プログラム◆
2020年11月19日(木) 第2459回例会
卓話: 片山 秀樹 会員

◆次回の例会プログラム◆
2020年12月10日(木) 第2460回例会
半期(仮)決算報告/年次総会
会計: 片山 秀樹 会員

◆前回例会◆
2020年11月5日(第2458回例会)
♪ロータリーソング「奉仕の理想」
【出席報告】
会員数 27名 出席18名
出席率 75%

◆会長挨拶◆ 河野 優作

先週、高橋会員、豊嶋会員の歓迎会を兼ねました移動例会が行われました。皆様のご感想が気になるころではありますが私はあの雰囲気でも皆様の皆様と一緒に食事すること、また親睦活動の大事さ、大切さを改めて痛感致しました。ヨーロッパを中心としたコロナの感染が再拡大しつつある中で、まだまだ状況的には厳しい状況ではあるとは思いますが今後も前回の様な形での例会が開催できるように例会開催の工夫、改善を考えていきたいと思っております。

話は変わりますが11月はロータリー財団月間となっております。皆様はご存知かと思いますがロータリー財団について少しお話しさせていただきます。ロータリー財団の大まかな概要としましては、1964-65年度RI理事会と管理委員会が毎年11月15日を含む1週間をロータリー財団週間することに決定いたしました。その後1983-84年度におきまして毎年、11月度ロータリー財団とすることが定められ、今日にも続いております。財団の目的としましては奨学金事業及び人道的事業についての知識と理解を深め、ロータリー財団の目的推進に役立つプログラムを実施する月間であるとなっております。

もう少し詳しくお話しさせていただきます。1917年6人目のRI会長アーチ・クランフがロータリー財団を創設しました。ロータリーが基金を作り、全世界的な規模で慈善、教育、その他の社会奉仕の分野で何かいいことをしようではないかと提案し、1928年の国際大会でこの基金はロータリー財団と命名

されました。この時アーチ・クランフが思い描いたプログラムの多くが現在、形を変え実施されております。1928年にロータリー財団として正式に発足しましたが、翌年の1929年に大恐慌が発生し、1938年には更なる大不況に遭遇致しました。戦争が終わり、1947年、ポール・ハリスが死去し、彼を祈念して募金活動を行ったところ100万ドルの目標に対して200万ドル以上が集まり、この資金が本格的な財団活動の出発となりました。現在の財団の資金は約11億ドル、日本円にして1100億円となるそうです。

次にロータリー財団の3大プログラムの要約としまして一つ目にポリオプラスプログラムがあります。これはロータリーの最優先項目で世界中のポリオ根絶の為の取組であります。

2つ目にロータリーの平和フェローシップです。世界に6つあるロータリーの平和センターの一つで国際関係、平和、紛争解決とその関連分野で学ぶ学生に対しての奨学金を主にしております。

最後、三つ目に補助金です。これはご存知の通り、人々により良い生活をもたらす、地域社会に貢献するロータリアンの活動を支える活動であります。

改めてロータリー財団とはどのようなものかとまとめますと他の団体に寄付するものではない、ロータリーの活動の為に自分たちで貯めて有効に使用する。基金を補助金として地区、クラブの為に活用する。活動目的は人道的奉仕と人材育成となります。

このコロナ禍の中、ロータリーもロータリアンも変わっていくこととなると思います。その中で115年の歴史を経たロータリークラブが変化し、補助金等が有効に使われることで夢のある未来に向かって行ければと思います。

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

◆幹事報告◆

前田 建司

- ・11月例会予定について
 - 11月 5日 卓話 豊嶋俊英 会員
 - 19日 卓話 片山秀樹 会員
- ・ガバナーノミニー・デジグネート選出の通知について
- ・本日例会終了後、理事役員会開催

◆理事役員会報告◆

- ・クリスマス例会ゲストについて
- ・薬物乱用防止募金について→募金箱をまわす
- ・事務局 PC 購入について説明

◆委員会報告◆

親睦活動副委員長 山本 貴雄

12月17日(木)にクリスマス例会を開催いたしますが、今回はご家族のご参加が出来ないということで、会場とご家族の皆様をオンラインで繋ぎ、プレゼントを渡すという演出を考えております。そして、それを会場のスクリーンに写そうと考えております。後日、事務局よりクリスマス例会出欠表をお廻し



いたしますが、会員の出欠記載欄の横に、オンラインでご参加いただけますお子様のお名前、年齢、性別をご記入いただく欄を設けております。ビデオ通話にご参加いただけるお子様に限り、”サンタさんからのプレゼント“ということで、河野会長よりプレゼントをご用意させていただきます。プレゼントは事前にご自宅にお送りしておき、当日渡していただくことも考えておりますが、詳細は後日お伝えいたします。ご不明なことがありましたら、親睦メンバーまでお願いいたします。

◆SAA報告◆

SAA代理 庄司 修二

ニコニコ

芝野弘三郎会員：豊嶋さん、卓話よろしくお祈いします

11/7で満68歳に！！

黄堂泰昌会員：豊嶋さん卓話よろしく

前田建司会員：今月は財団月間です。豊嶋会員、卓話宜しくお祈いします。

林たかみ会員、庄司修二会員、高橋太朗会員、山本貴雄会員

米山奨学会

上島一彦会員：豊嶋さん、卓話よろしくお祈いします
片山秀樹会員、庄司修二会員、高橋太朗会員、黄堂泰昌会員、山本貴雄会員、前田建司会員

ロータリー財団

庄司修二会員、黄堂泰昌会員、前田建司会員、上島一彦会員、山本貴雄会員、高橋太朗会員

ポリオ基金

川端崇且会員、河野優作会員、庄司修二会員

◆11月お誕生日お祝い◆

- 11月 7日 芝野弘三郎 会員
- 10日 佐藤 修 会員 (欠席)
- 27日 西脇 悟 会員 (欠席)



☆おめでとうございます☆

◆米山奨学生 イアン パンニャー様からのご報告◆

今月の自分の生活を報告させていただきます。

一つ目、10月18日に宝塚での米山奨学生レクリエーションにカウンセラーさんの木村さんと一緒に参加しました。そこで、2660地区米山奨学生が集合して、私を含めてすべて簡単なスピーチが行われていました。私は、米山奨学生になってから、日本との懸け橋、周りの人に、カンボジア人を代表するという自分の責任を強く感じています。さらに、他の米山奨学生からもいろいろなことを学びました。レクリエーションの最後に、宝塚大劇場でのパフォーマンスも初めて見ました。日本の文化がとても美しいと感じました。二つ目、個人的なことなのですが、配属した研究室で留学生が私だけですが、10月からインドからの留学生が配属されて、もっと国際的な研究室になります。以上になりますが、いつも支えていただき、心から感謝申し上げます。来月もよろしくお祈いします。

◆卓話◆

『自己紹介卓話』

豊嶋 俊英



☆豊嶋会員、どうぞよろしくお祈いいたします☆

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか